

常呂川河川整備計画検討会（第3回）議事要旨

■日時： 令和3年3月10日（水）13:00～14:40

■開催形式：WEB開催

■出席者： 渡邊委員長、根本副委員長、駒井委員、塩本委員、中川委員、早川委員、
平野委員、吉田委員（以上8名）※委員長、副委員長以降の順は五十音順

- 議題
1. 常呂川河川整備計画検討会について
 2. 常呂川流域の現状と課題
 3. 常呂川水系河川整備計画の見直しのポイント

■議事要旨

議事に入る前に、委員長の選出を行い、事務局案として渡邊委員を推薦し承認された。また、副委員長は渡邊委員より根本委員が指名され、承認された。

1. 常呂川河川整備計画検討会について

特段意見なし。

2. 常呂川流域の現状と課題

- ・水質事故の種類や発生要因について、上・中・下流といった場所の違いによる特徴はあるか。（委員）
→ 整理して次回報告したい。（事務局）
- ・河口域付近でも水質のモニタリングを実施しているのか。（委員）
→ 確認して次回報告したい。（事務局）
- ・水質については、水温もモニタリングしているのか。気候変動の影響や今後の対策を考えるうえで重要な情報である。水温と気温の関係についても整理をお願いしたい。（委員）
→ 整理して次回報告したい。（事務局）
- ・大腸菌群数の減少理由について、家畜等の数が減少したものなのか、あるいは対策を行ってのことなのか、引き続き調査・検討をして頂きたい。（委員）
→ 清流ルネッサンスⅡとして対策したことによるものと考えているが、引き続きモニタリングを行っていききたい。（事務局）
- ・河床低下は生物へも影響を与えることからしっかり対策を行うことが重要である。（委員）
- ・水利用について、上・中・下流でデータを分けることは可能か。（委員）
→ 整理して次回報告したい。（事務局）

- ・ 現行の整備計画に対して、現状でどのくらい達成しているか整理してほしい。（委員）
→ 整理して次回報告したい。（事務局）

3. 常呂川水系河川整備計画の見直しのポイント

- ・ 気候変動への対応について、どのような時間スケールを考えているのか。（委員）
→ 整理して次回説明したい。（事務局）
- ・ 今後の人口の減少や社会情勢の変化を考慮することも流域治水を考える上で重要ではないか。（委員）
- ・ 全国での災害において死者数が多い高齢者施設等も踏まえて検討をしてほしい。また、救助にあたる人の減少など、社会構造の変化なども踏まえて対策を検討していただきたい。流域治水は共生計画でもあると考えている。（委員）
→ ご指摘を踏まえ、こうしたリスクも踏まえたハード・ソフト等あわせた対策を考えていきたい。（事務局）
- ・ 常呂川にかつて住んでいた人たち、現在住んでいる人たちとのつながりが大事だと思う。流域の歴史やかつての利用形態とのつながりも踏まえて河川整備をして欲しい。（委員）
- ・ 生物文化多様性という言葉がひとつのテーマになってきており、常呂川流域の自然の多様性を守っていくことが重要。（委員）
- ・ 流域治水について、河川整備と流域対策の量的な目標があるのか。（委員）
→ 整備計画に基づきハード整備をより一層進めるとともに、目標を超過する大規模洪水の頻発を踏まえ、流域対策やソフト対策も組み合わせて取り組みたい。（事務局）